

指定障害者支援施設

さやま園 ▼▲● だより

GOOD DAY SUNSHINE PROJECT!



No.209

2019.Oct.

園長 NOTE



荒井園長 編

秋の訪れ

まだまだ暑い日が続いていますが、朝晩はめっきり涼しくなり、秋の装いへと変わってきました。9月の上旬には近所で彼岸花が一輪だけ早々に開花していました。猛暑の夏が早く終わってくれないかと思っていたにもかかわらず、彼岸花をみて「もう、秋なんだな」と夏の終わりの寂しさを何となく感じてしまいました。

9月9日に首都圏を直撃した台風15号では、神奈川県、千葉県を中心に大きな被害があり、特に千葉県では家屋の被害や長期にわたる停電など甚大な被害となっていました。被害に遭われた多くの皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

当園でも地震や火災などの災害に対する訓練は繰り返し行い、いざという時に備えています。水害については、ハザードマップによる危険地帯に入っていないこともあり、それほど意識をしてきませんでした。しかし、今年

の異常ともいえるゲリラ豪雨などによる被害を考えると、今後の対策をより具体化し取り組んでいく必要があることを痛感しました。利用者が安全で、安心して生活できる場として、また、職員が安心して働ける場として取り組んでいきたいと思います。

さて、7月には夏祭りを実施し、近隣の皆様に沢山おいで頂き大盛況に終わりました。

10月20日(日)には、第48回「さやま園祭」を実施します。色々な企画があります。ビンゴゲームでは、景品にディズニーランドペアチケットをご用意しております。

さやま園という所で、障害のある方も皆様と同じように生活していることをご理解いただく機会として、ぜひ足をお運びください。

利用者・職員一同、お待ちしております。



園長 荒井隆夫

さやま園祭 こんじゃく 今昔物語

時は 48 年前にさかのぼる。昭和 46 年（1971 年）、国際連合が「知的障害者の権利宣言」^{さいたく}を採択した年。当時のさやま園は 3 棟平屋建て。各家庭にエアコンが普及していた時代に、エアコンなしで 10 畳一間に 4~5 人が生活していました。暖をとるのもストーブ 1 個。他国が障害者の権利に目を向けたばかり。障害者施設が地域の一部と認められるのが難しく、障害者だからと石を投げられるような時代でした。

「障害がある人や入所施設のことを知って欲しい」
「地域の一部として認められたい」
「利用者と職員で力を合わせてよりいい環境にしよう！」
そんな思いで誕生したのが『さやま園祭』です。

さやま園祭は、2 日間行なっていました。

1 日目は、コンサート。近隣の高校や福祉施設の有志が集まりました。

2 日目は、さやま園の中をまわり、利用者と触れ合いながら、障害者理解を深められるように様々な企画がありました。日々の作業で培った機織りの実演、茶つちか道クラブがお抹茶を立て、おもちをつき、打ちたてのうどん販売、手作りのみそやたくあんはたおの販売、手芸・陶芸作品やお花販売、バザー…etc

目玉は、『バザー』^{けいさい}。いくつもの市報に掲載していたが、各家庭や業者から、新品や中古の大型家具や電化製品、衣類、古本などグラウンドに入りきらないほど集まりました。古本だけでも一つのブースができ、古本屋の専門の人が買い付けに来るくらいでした。^{ちょう}評判は評判を呼び、開園前には園の外周をまわる長蛇の列ができていたのだとか。



昭和 60 年のさやま園祭のバザー会場の様子。今よりもバザー会場の面積が大きかった。

荒井園長は、嬉しそうに話す。30 年以上前に初めてさやま園に着任し、この活気にとても驚いた。大変で職員から文句はたくさん出ていたけれども「やめよう」と言う人はいなかった。

あるお宅にバザー品回収に伺った際、^{うかが}素敵なブティックの後に、控えめに「引き取ってもらえませんか」と、両手に優しく包まれたヒヨコを見たことを今でも覚えているのだとか。

利用者と職員だけではなく、保護者や地域の施設や学校、自治体、ボランティアも多い時には 200 人。そこに地域や遠方からたくさんのお客様が遊びに来てくださった。

たくさんの人の力が集まって今年で 48 回目。少し形は変わったけれど、目的は変わらず、楽しんで準備を進めています。



園祭 1 日目はコンサートの日。近隣の学校や地域の有志の方々と共に音楽を楽しんだ。



園祭 2 日目。茶道クラブの野点の様子。^{のたて}

第48回 さやま園祭

“令和のはじまり 地域の「和」をさやまから！”

開催日時： 2019年10月20日(日) 10:00~14:30

会場： さやま園・ひかり苑・サンホーム



about さやま園祭

さやま園祭は、「地域交流」をテーマにさやま園、ひかり苑、サンホームの3施設合同で開催しているお祭りです。地域の方々に私達の日頃の活動を知っていただき、交流を深める3施設の中でも一大行事となっています。

さやま園祭では利用者の方々が日頃の日中活動で制作した絵画や陶芸、手芸作品、焼き菓子など多彩な品々が展示・販売されます。利用者の方々も自分の作品を地域の方に見ただけのこともとても楽しみに制作しています。どの作品もこの世に一つしかない一点ものですのでぜひじっくりとご覧ください。

当日は作品の展示・販売の他に模擬店、フリーマーケット、スタンプラリー、体験コーナー（陶芸、ヘアゴム作り）、ビンゴ大会などを予定しています。ビンゴ大会の景品にはディズニーリゾートペアチケット5組（数寄屋橋ライオンズクラブ様協賛）など豪華賞品を用意しております。

今年のさやま園祭のテーマは「令和のはじまり 地域の「和」をさやまから！」です。令和元年のさやま園祭、素敵な芸術作品と美味しい食べ物で心を「和」ませ、楽しい催し物では一緒に盛り上げていきましょう！芸術の秋、食欲の秋をさやま園祭でご堪能ください。お待ちしております。

※当日ご来園の際は公共交通機関のご利用をお勧めします。車でご来園の方は近隣の有料駐車場をご利用ください。



1 さやまの森

今年もさやまの森が素敵な絵画や陶器で彩られています。小道を歩いていろいろな作品を見つけてみてください。広報誌の名前になっているカルミアの木も隠れ咲いているかもしれません。



さやま園祭ガイド

いらっしやいませ〜



2 模擬店

皆さんにとってお祭りの定番メニューとはなんですか？
たこ焼き、フランクフルト、フライドポテト、それとも・・・
選べない!という皆さんは今日は欲張ってゼーンぶ食べましょう!
美味しい匂いがしてきましたよ…!

3 利用者主催ブース

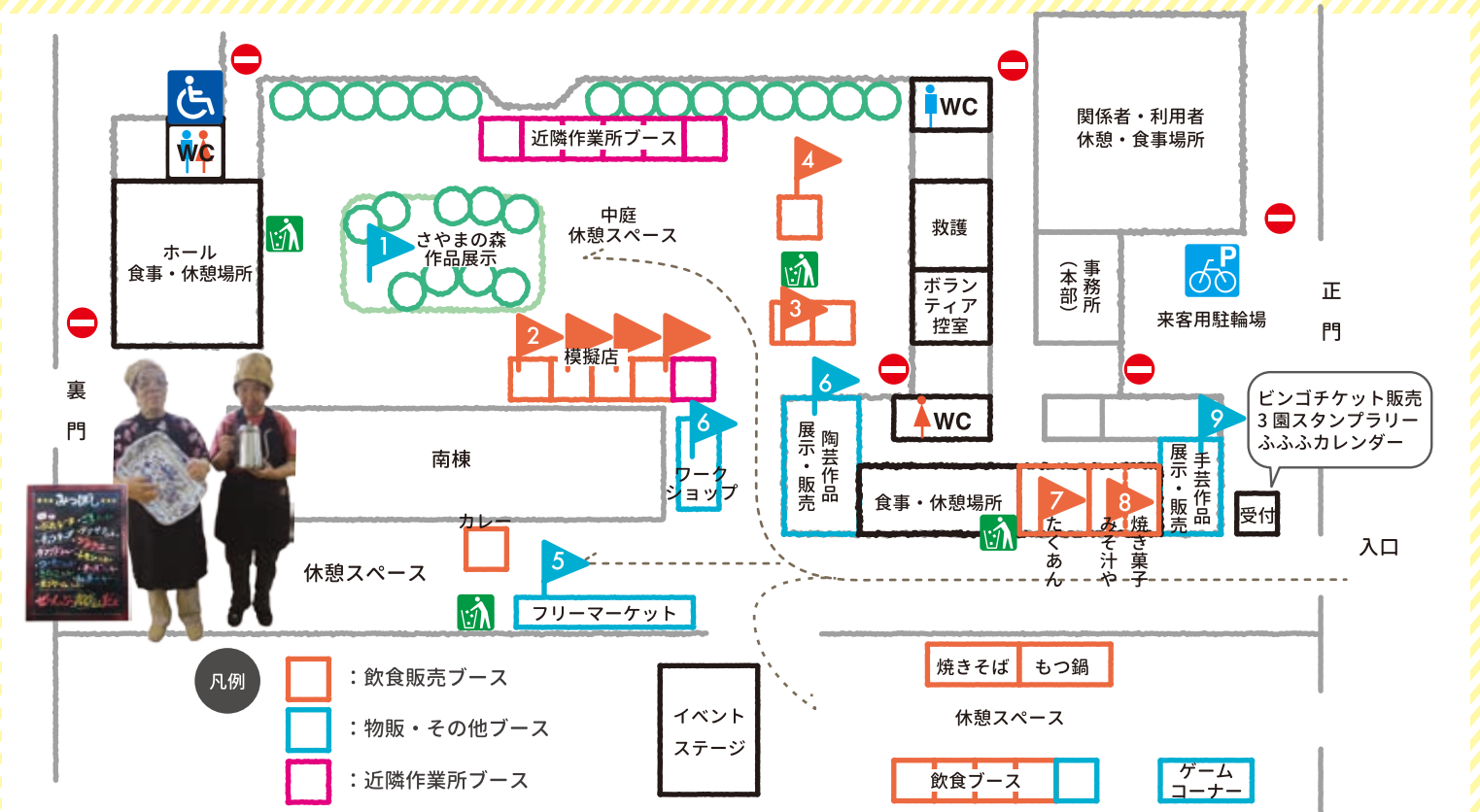
昨年はお好み焼きを販売し大好評だった利用者主催ブース。
今年何を販売するかは来てのお楽しみ。利用者さんの素敵な笑顔と共にお待ちしております

4 パン

さやま園手作りのパンやサンドウィッチ。おやつにもご飯にもピッタリな美味しいパンを用意してお待ちしています。

5 フリーマーケット

毎年恒例のフリーマーケット。あなたのお目当てや、掘り出し見つかるかも!



6 陶芸・ワークショップ

陶芸作品には今年の作品は作り手のハンコが押されています。あなたのお気に入りや好きな作家さんが見つかるかも?体験ブースは、陶芸とヘアゴム作り2種類があります。陶芸ではお皿の飾りつけ、ヘアゴム作りでは世界に一つしかない自分だけのオリジナルヘアゴム作りが体験できます。あなたの才能が開花する!



7 たぐあん

さやま園のたぐあんは べったら漬けに似た、一度食べたらやみつきの味。甘じょっぱい味でお子さんから大人まで楽しめます。島村漬物さんの漬物も販売しています。ぜひご賞味あれ。

8 みそ汁や・みつぼしクッキー販売

『みつぼし』ではぶたれぬ・クッキーなどのお菓子を販売しています。定期的に外部販売も行っており、美味しいと評判です。週に一度、園内販売をしている『みそ汁や』。利用者の手作り定食は、ほっとするどこか懐かしい味。味よし・見た目よし・懐にもよしで大人気。たんと召し上がれ!

9 くれあ作品展示・販売

編み物やタッピング、刺繍、絵、切り絵やマスコット etc 一歩踏み入るとそこは別世界。どれも個性的で魅力的。あなたのお気に入りは見つかりましたか?



GALLERY



さやま園のギャラリーは2ヶ月ごとに利用者を変えて作品を展示しています。2回目のギャラリー展示は坂東和子さんの作品でした。画用紙の真ん中に描かれている人物は彼女自身で、その周りに彼女の思い出や生活の一部が描かれています。明るい色彩から彼女の人が伝わってくる作品です。

カルミア内にひそむ“ミカメ”を探す、企画！
今号には3人の“ミカメ”が潜んでいます。
さあどこにいるでしょう？



ミカメを探せ！

職員のつぶやき

昔から、名前のいい間違いが多い気がします。芸能人はもとより、友人知人、はたまた妻と娘の名前を言い間違えてしまうこともちらほら。一度や二度ではないので、妻からは怒りを乗り越えて、あきれられてしまっております。それなので、あまり名前では呼ばないようにしていたら、今度は年のせいか名前自体が出て来なくなることも。

そういえば両親もいい間違いが多かったです。母親が姉と自分の名前を言い間違えていたり、父親が甥と自分の名前を間違えて呼んでいました。

そんな、「いい間違いの血筋」。きちんと娘にも受け継がれておりました。毎日「パパ」と「ママ」と言い間違えております。本人も言うてから「あつ間違えた」と照れています。いつか恥ずかしい「いい間違い」をしなればいいなと思う今日この頃です。

若林

編集後記

厳しい暑さから一転、過去最高クラスの台風が関東を直撃し大規模な停電被害がおこるなどありましたが、ようやく過ごしやすい時期になりました。

私にとって、私の住む埼玉県の「川越祭り」やプロ野球の「日本シリーズ」よりも「毎年恒例」なのがさやま園祭です。「今年のたくあんはどうか？天気はどうか？お客さんはたくさん来るかな？イベントは何か？などなど」

私はさやま園で勤務してまだ10年弱ですが、そんな私でさえこの時期になると「さやま園祭」に夢中になります。さやま園でもっと長く生活しているご利用者の方々、もっと前から遊びに来てくれている地域の方々の思いは？きっと私の思いなど比べものにならないくらい夢中になれる「毎年恒例」なのでしょうね。

古林

